



2024 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 SBI レオスひふみ株式会社  
代表者名 代表取締役 会長兼社長 グループ CEO 藤野 英人  
(コード：165A、東証グロース市場)  
問合せ先 常務取締役 グループ CAO 岩田 次郎  
(TEL. 03-6311-6799)

### 剰余金の配当(中間配当)の決定に関するお知らせ

当社は、2024 年 11 月 6 日開催の取締役会において、以下のとおり、2024 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

なお、当配当の実施にあたり当社は臨時決算を行い、2025 年 3 月期第 2 四半期累計期間(2024 年 4 月 1 日～2024 年 9 月 30 日)の利益を分配可能額(利益剰余金)に算入しております。

#### 1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2024 年 8 月 21 日公表)	前期実績 (2024 年 3 月期第 2 四半期)
基 準 日	2024 年 9 月 30 日	2024 年 9 月 30 日	2023 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	27 円 20 銭	27 円 20 銭	18 円 00 銭
配当金総額	351 百万円	—	231 百万円
効力発生日	2024 年 12 月 6 日	—	2023 年 12 月 8 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

※当社は、レオス・キャピタルワークス株式会社(以下「レオス・キャピタルワークス」といいます。)の単独株式移転により、レオス・キャピタルワークスの持株会社(完全親会社)として 2024 年 4 月 1 日に設立されました。前期実績については、レオス・キャピタルワークスの配当金額を記載しております。

#### 2. 理由

当社はこれまで、親会社株主に帰属する当期純利益に対する連結配当性向 30%以上を目標とし、中間配当及び期末配当として年 2 回の配当を行うことを基本方針としておりましたが、今期からは株主への還元を強化するため、連結配当性向を 50%以上に引き上げる方針に変更しました。

また、当社グループの事業特性として、マーケットの短期的な変動により業績が下ぶれる可能性があることを踏まえ、安定した配当を維持する施策として、DOE(株主資本配当率：前期末の株主資本に対する年間配当金額の割合)が 10%以上となるように年間の配当金を設定し、中間配当及び期末配当として年 2 回の剰余金の配当を行うことといたしました。

具体的には、2024 年 10 月 1 日を効力発生日とする株式分割を考慮しない場合、前期末の 1 株当たり株主資本の金額が 534 円であることから、その 10%以上の金額として年間配当額を 54 円 40 銭とし、中間配当金額は、その 50%の 27 円 20 銭といたしました。

今期の配当については、年間の配当金額を親会社株主に帰属する当期純利益に対する連結配当性向の 50%以上とすることから、期末配当については最終的な利益水準により上方修正する可能性があります。一方で、DOE が 10%以上となるように年間の配当金を設定することから、利益水準による期末配当の下方修正は予定しておりません。

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
配 当 予 想		3 円 40 銭	—
当 期 実 績	27 円 20 銭		

※2024 年 9 月 30 日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式 1 株につき 8 株の割合をもって株式分割をしていることから、期末の配当予想は、株式分割の影響を反映させておりますが、中間配当の支払につきましては、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

※1 株当たり配当金の年間合計金額については株式分割の実施により単純合算ができないため表示しておりません。

3. 臨時決算

（1）臨時決算日

2024 年 9 月 30 日

（2）臨時計算書類の概要

（単位：百万円）

	科目	金額
2024 年 9 月 30 日現在	資産合計	8,690
	純資産合計	7,599
	利益剰余金	627
2024 年 4 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日まで	営業収益	1,464
	営業利益	793
	経常利益	790
	臨時期間純利益	627

以 上